

令和5年度学校経営方針

共に学び共に育つ楽しさを実感できる稚内南中学校

【関係法令等】

- ・憲法(教育理念)
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・宗谷管内教育推進重点
- ・稚内市教育大綱

【稚内南中学校 校訓】

「正義」・「博愛」・「健康」

この校訓は昭和34年に制定され、正義は知を、博愛は情を、健康は意を含めた体を表しており、現在の学習指導要領の「未来社会を切り拓く力」「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた「生きる力」の育成に他ならない。南中はこの知情意体のバランスのとれた育成を目指している。

【学校教育目標】

「未来を切り拓く心豊かな生徒の育成」

【目指す生徒像】(南地区共通)

ここでの「未来を切り拓く」とは …

- ・夢を抱き、何事にも粘り強く挑戦する生徒
- ・自ら学び、自ら考え、創造する生徒
- ・稚内に誇りを持ち、ふるさとを愛する生徒

ここでの「心豊かな」とは …

- ・正しく判断し、責任を持って行動する生徒
- ・自他ともに認め合い、お互いを高め合う生徒
- ・心身ともに健康でたくましく生き抜く生徒

生徒指導三機能とは

自己存在感を与える
共感的な人間関係を形成する
自己決定の場を与える

【学校運営の重点】

生徒像に近づくために学校・教職員の目指す姿

1. チームとして育ち機能する学校

部長を中心に「報告・連絡・相談・確認」と「方針・具体策・連携・相互支援」を向上させる職員集団

2. 生徒の自己肯定感が育つ学校

生徒指導の三機能を意識した積極的な生徒指導・心の居場所がある学級経営、部活運営を

3. 将来のビジョンを描き努力できる魅力ある学校

教師としての人間性や授業力を磨き、生徒主体の授業づくりの深化に努め、学力を身につけさせる

4. 豊かな感性を磨き信頼される学校

生徒の感性を磨き、そのアイデアが実現され、実践の成果を保護者や地域社会に発信し信頼を得る

5. 地域・社会に開かれた学校

P T A活動・子育て運動を改善充実させ、学校・家庭・地域の役割を果たし合える活動の充実

令和5年度は学校・家庭・地域の相互の役割を發揮し、生徒の人格形成と学力形成を図ることをねらいに、以上の5つを学校運営の重点とした。この5つの重点を達成するために、一人一人の教職員が「学校は組織体である」ことを共通に押さえ合い学年部会を基盤に日常の教育活動を推進し、分掌部会においては学校運営改善のために率先して努力することが求められる。教育活動は**人格性、科学性、総合性、歴史性**という視点を総合した実践により成果を上げることができる。全ての教職員がこうした見地に立ち、具体的実践にあたっては学校・家庭・地域の連携、小中の一貫を基盤にした信頼される学校づくりをめざし、「組織的」に教育活動に取り組むことが必要である。教職員の使命は、稚内南中学校のすべての生徒に『確かな学力、豊かな心、体力・健康を育み、「生きる力」』を培うことである。そのためには教師一人ひとりが自己の実践的指導力を高め、地域・保護者・生徒の願いに応え、教育の営みの本質(人格の完成)を共通基盤に、法令や学習指導要領の示すところに従い公教育としての学校教育を推進することを基本とする。本校の歴史と伝統を継承しつつ生徒の実態をもとに、社会に開かれた特色ある教育課程づくりに努めるとともに、人間尊重の気風をみなぎらせ全教職員の組織的参加による経営の推進に努めることが生徒・保護者・地域の願いに応えることである。

人格性とは、教えるものと学ぶものとの関係性をさし、**科学性**とは、子どもの発達段階に即した科学的認識をさし、**総合性**とは、教育の長い年月にわたる総合的結果と教員の誠実な努力と同時に教職員集団の力量が総合的に結実するという成果をさし、**歴史性**とは、人類の文化的遺産を継承し、平和な未来を切り拓く使命感をさしています。

【子どもの未来を保障する「4つの重点」と「20の具体策」】

重点1 学力保障

- ① 数学的思考力の向上を全教育活動でアプローチ
- ② 授業改善8の視点による授業改善と授業力向上
- ③ ICTやIoT機器を活用した個（子）に応じた学びの推進と協働的学びの推進
- ④ 課題解決能力の育成に重きを置いた探究活動の育成
- ⑤ 稚内学を含むキャリア教育の実践

重点2 豊かな心・関わる力

- ① 生徒同士の心のふれあい、心の居場所のある学級経営
- ② 他人を価値ある存在として正しく多様性を尊重する教育の実践
- ③ 生徒会による自治的な活動の充実と支援
- ④ 生徒の教育的ニーズや特別な支援を要する生徒への持続可能な教育の充実
- ⑤ 地域活動やボランティア活動への積極的な参加

重点3 健全な身体・やり抜く心

- ① 自分の良さや可能性を知る計画的な全教育活動の設定
- ② 9年間連携した系統的な食育指導
- ③ 生命を尊び、自らを律する健康・安全教育の推進
- ④ コロナウイルスを含む感染症対策の徹底
- ⑤ 早寝早起き朝ご飯、レコーディングノートの推進

重点4 次世代につながる思考・スキル

- ① 自身の変容や成長を評価し個性を伸ばす指導へとつなげるキャリアパスポートを活用
- ② SDGs教育の推進
- ③ 稚内学を含む全教育活動でのキャリア教育推進
- ④ 未来を創る総合的学習の実施と検証
- ⑤ 英語を使った言語活用力（コミュニケーション能力）の育成

【目指す教師像】

- ・ 授業改善の努力を不断に追求する教師
- ・ 子ども理解を深く追求する教師
- ・ 個に応じた指導を追求する教師
- ・ 家庭・地域の連携・共同を追求する教師

【学校評価による検証】

令和5年度の生徒評価達成目標数値

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 学校が楽しい「100 %」 | <input type="checkbox"/> 信頼できる先生がいる「95 %」 |
| <input type="checkbox"/> 授業がよくわかる「95 %」 | <input type="checkbox"/> 自分には良いところがある「100 %」 |
| <input type="checkbox"/> 希望や夢を持っている「100 %」 | |

【部活動】

- ・ 教育活動で培った資質能力が生きる部活動運営と心技体の向上
→ 地域移行に向けた検討、方向性の確定

【PTA】

- ・ 保護者、子ども、教職員らが話し合っただけで教育を創造していく「参加と共同の学校」をめざす
- ・ 保護者と教職員が協力し、未来を切り拓く心豊かな南中生を育てる
- ・ 学校、家庭、地域の役割の発揮と連携、小中PTAの連携を進め南地区の子育て運動を活性化